



チューター
福嶋 揚
(ふくしま よう)

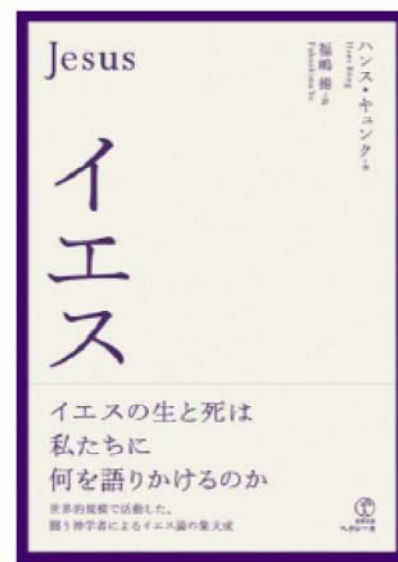
キリスト教神学と倫理学の研究者。
東京大学大学院(倫理学専攻)博士課程修了。独テュービンゲン大学神学部を経て、ハイデルベルク大学神学部にて神学博士号(Dr. Theol.)取得。
現在、東京大学大学院 死生学・応用倫理センター研究員
著書:『カール・バルト～破局のなかの希望』(ふねうま舎2015)、『カール・バルト～未来学としての神学』(日本基督教団出版局2018)、共著:『ドイツ哲学入門』(ミネルヴァ書房2024)、『宗教と終末論』(リトン2024)、翻訳:ユルゲン・モルトマン『希望の倫理』(新教出版社2016)、ハンス・キュンク『イエス』(ヘウレーカ図書出版2024)その他。

2025年5月開講

福嶋揚と共に ハンス・キュンク を読む

ハンス・
キュンク著
『イエス』

世界的規模で活躍した現代のエキュメニカル神学者ハンス・キュンクのイエス論を訳者である福嶋揚の手引きにより各回1章ずつ発表者を決めて議論するゼミ形式で学んでいきます。



毎月第4金曜日 16:30～18:00